

新しい風

倉敷市立琴浦南小学校
平成27年 6月27日
No.10

紫陽花や ひとかたまりの 露の音

正岡 子規

静かな雨の雫に映える紫陽花の華やかな色彩が、心に潤いを与えてくれるようです。南校舎記念碑の横にも花をつけていました。紫陽花といえば紫色？青紫？ピンク？紫陽花は同じ品種であっても色が異なる場合があります。なぜでしょう・・・。



雨の朝

九州で大雨を伝えるニュースが流れている朝。道をはさんだ向こう側で、高学年らしき男子と低学年らしき男子が立ち止まりました。「ん?!」そのまま見ていると、背の小さな子は片膝をついて足元で何かしているように見えました。雨脚の強い中、風も吹いています。高学年の男子はそっと自分の傘をしゃがんでいるその子の上にさし、待っています。しばらくして、立ちあがった子にその子の傘を渡し何事もなかったかのように、二人は足早に班に合流していきました。二人の自然な姿の中に見えた穏やかな何とも言えない雰囲気。梅雨空さえも心地よく感じる姿でした。

その後すぐに今度は傘をささずに先頭を歩いている女子とすれ違いました。「おはようございます」いつもと同じようにさわやかな言葉を耳にしました。「どうしたん？かさは？」「壊れたから」「壊れた？」班長の後ろには壊れた傘を持ちながら、傘をさしている低学年の子の姿がありました。班長であるその子は、自分の傘を貸して、自分は雨に打たれながら歩いていたのです。大人であってもなかなかできることではありません。頭の下がる思いがしました。この子のやさしさがずっと下級生に受け継がれていくことを願ってやみません。その後、傘を貸していた子に校内で会いました。「今朝はありがとう。なぜひいとらん？」「大丈夫です。」そう言って微笑む表情が今も心に残っています。

また、雨の中、足元をびしょびしょに濡らしながら交差点や横断歩道、正門に立ってくださった地域安全パトロール隊の皆さま本当にありがとうございます。

放課後も同様に雨が降っていましたが、安全パトロール隊の方が見守りに出てくださいました。萱苧地区の方から次のようなお話を耳にしました。「前は（下校時の見守りに）出ていても知らん顔しとった女の子が、最近は『ただいま』って言うようになったんですわ。それだけでうれしゅうなりますわ」こうした地域の方への感謝の思いを、あいさつに込めて届けられる子どもたちが増えることを願っています。

こんな風景も



その日は3つの子ども会が放課後の運動場で練習をしていました。玄関を出ると1番近いところで練習をしていた子どもたちから大きな声で「こんにちは」「こんにちは」とあいさつが飛んできました。あいさつもすごかったのですが、自転車もすごかったのです。大勢の子どもたちが自転車で来ていたようですが、ご覧の通りプールに向かうマットを踏むことなく、整然と駐輪されていました。早く来た人がきちんと停めて後から来た人も同じようにしたからでしょう。素晴らしいことだと感じました。学校生活でも活かせることです。期待しています!!

(紫陽花は酸性の土では青色系、アルカリ性の土ではピンク系の色になるそうです。)